



現在の状況

- ・若者はばたけネットにより、県立学校の進路未定での中途退学者の情報は全て収集されるが、その他の学校は同意書での収集となるため、同意を得られず、収集できないケースがほとんどである。
- ・年1回、全学校（県立・市町村立・国立・私立）に教員向けの若者はばたけネット説明マニュアルとチラシ等を配布し、生徒への周知と誘導を依頼。
- ・年2回（8月・2月）、中学校卒業時進路未定の生徒がいる市町村に対して、本人の進路と支援状況を聴取し、本人へのサポステの周知と誘導を依頼。
- ・年1回、私立学校を訪問し、生徒へのサポステの周知と誘導を依頼。